

平成26年度第1回千葉市子ども未来局指定管理者選定評価委員会

1日時：平成26年7月4日（金）10時00分～11時30分

2場所：千葉市議会第4委員会室

3出席者：

(1) 委員

岩切裕委員（会長）、鶴見泰委員（副会長）、木頭信男委員、中原秀登委員

(2) 事務局

【子ども未来局】 片桐子ども未来部長

【子ども未来部子ども企画課】 植草課長、こどもの参画班

【子ども未来部保育支援課】 松浦課長、支援係

4議題：

(1) 「千葉市子ども交流館」の年度評価について

(2) 「千葉市子育て支援館」の年度評価について

(3) その他

5議事の概要：

(1) 「千葉市子ども交流館」の年度評価について、評価シートをもとに事務局から説明を行い、評価に関して委員会としての意見を取りまとめた。

(2) 「千葉市子育て支援館」の年度評価について、評価シートをもとに事務局から説明を行い、評価に関して委員会としての意見を取りまとめた。

(3) 事務局より、今年度の会議の開催、また議事録と評価シートについての説明を行った。

6 会議の経過：

○事務局 これより平成26年度第1回こども未来局指定管理者選定評価委員会を開会させていただきます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、こども企画課、稲増と申します。よろしくお願いたします。

なお、本日、田原委員より欠席する旨のご連絡がありましたので、ご報告いたします。

本日は、委員の皆様のご過半数の出席となりますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第10条第2項の規定により、会議が成立しておりますことをご報告いたします。

また、当会議は公開となります。傍聴人は現時点ではいらっしゃいません。

本日、お手元に議事次第、席次表、指定管理者評価シートを机上に配付いたしております。なお、事前に青いファイルの配付資料と黄色いファイルの参考資料をお送りさせていただきます。資料につきまして、お気づきのことがございましたら、いつでも事務局までお申し付ください。

それでは、開会に当たりまして、こども未来局こども未来部長、片桐からご挨拶を申し上げます。

○片桐こども未来局未来部長 おはようございます。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。皆様方におかれましては、本審議会も含めまして、千葉市政各般にわたり、一方ならぬご支援、ご協力を賜っておりますことを、この場をおかりいたしまして、厚く御礼申し上げます。

本題に入ります前に、一言、皆様にご報告申し上げます。マスコミ等でもうご承知のことと思っておりますけれども、千葉市は今年の4月1日に、初めて待機児童ゼロを達成いたしました。これまで4年間の時間をかけまして、一つは、少しずつですが、施設の整備をしてきたこと、そして、もう一つは、市民の皆様の保育ニーズを的確に把握して、できるだけ情報提供する「子育て支援コンシェルジュ」を配置したこと、ハードとソフト、両面から策を講じて、やっと達成することができたということでございます。一昨年、横浜市が待機児童ゼロを達成しましたが、今年度は、待機児童が逆にどんと増えました。増加の原因を分析いたしますと、やはり働きたいお母さん方がいっぱいいらっしゃいまして、いわゆる潜在需要を喚起したことが考えられます。私どもは、1年だけの待機児童ゼロということではなく、来年度以降も待機児童ゼロを継続すべく、引き続き尽力して参りますので、皆様のご協力、ご支援を賜りますよう、お願いたします。

本日は子ども交流館と子育て支援館の選定評価につきまして、皆様には、それぞれの専門的なご見識、お立場から、忌憚のないご意見をいただきまして、両施設のより良い運営に向けて、アドバイスをいただけたら、大変光栄に存じます。どうかよろしくお願いたします。

○事務局 それでは、以後の議事進行につきましては、岩切会長にお願い申し上げます。よろしく願いいたします。

○岩切会長 皆さん、おはようございます。お忙しい中、ご苦労さまでございます。

この2施設の指定管理は現在3年目を迎えておりますが、本日は、2年目に当たる平成25年度の管理実績、評価について審議することになります。

指定管理者として、きめ細かな市民サービスの提供ができているか、あるいは維持されているかという視点で、ご意見をいただければ、幸いです。どうぞ忌憚のないご意見を出していただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、本日の議題について、事務局よりご説明願います。

○事務局 本日の議題でございますが、子ども交流館及び子育て支援館の評価を指定管理者評価シートに沿って、順に説明いたします。評価シートの委員会意見欄に記入する委員会としてのご意見を伺いたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

○岩切会長 それでは、議題1「千葉市子ども交流館の年度評価」について、進めて参ります。事務局よりご説明をお願いします。

○植草こども企画課長 こども企画課でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、お手元にお配りしております、資料2-2「指定管理評価シート」の内容に沿って、ご説明させていただきます。

初めに、1の「基本情報」でございます。

施設名は、「千葉市子ども交流館」。24年度から引き続き指定管理者となっておりますアクティオ株式会社に指定管理を委託しているところです。この指定管理者は、現在、全国の自治体で数多くの指定管理業務を行っている事業者でございます。また、子ども交流館は、子どもの健全な遊びと居場所の提供を目的とした大型の児童館の機能を持つ施設となっております。

続きまして、2の「管理運営の実績」でございます。

まず、(1)主な実施事業でございます。

①の指定管理事業といたしまして、施設の管理運営のほか、各種講座・教室等の開催などの事業を実施しております。

②の指定管理者が自主的に行う事業といたしましては、委託事業以外の講座・教室等の開催、音楽スタジオを用いたミュージックレッスン等を開催し、25年度の年間参加者数は2,254人で、対前年度比約100人の増でございます。また、年間の総開催数も、24年度と比べまして、20回ほど増えております。一例といたしまして、講座・教室等のうち、「キッズインミュージック」でございますが、こちらは回数が12回から10回、2回ほど減っておりますけれども、内容を見直した結果、参加者が24年度の90人から25年度は376人へと、286人も増えております。

(2)の利用状況をご覧ください。利用者数につきましては、25年度は12万9,850人で、

24年度と比べまして、3,000人ほど減少しておりますが、25年度は過去2番目に多い来館者数を記録してございます。登録者数につきましては、新規利用登録者数は24年度と比べまして、2,100人ほど減少しておりますけれども、これは、全体の来館者数の減に伴い、減少しているものでございます。

(3)の収支状況をご覧ください。

①の収入実績の自主事業の決算額ですが、対計画比76.1%となっております。24年度は50.7%となっておりますので、改善を図られたものの、依然として定員に満たない講座も多く、計画額を下回ったものでございます。その他は、受託事業収益がございまして、計画比72.6%となっており、収益アップに向けた検討が必要でございまして、全体といたしましては、計画比99.5%でございまして。

②の支出実績のうち、まず人件費でございまして、決算額は計画比105.8%となっております。これは繁忙期の非常勤の増員、産休職員の事務引継等に係る賃金等の増のほか、事業の充実を図ったことに伴う残業代の増によるものでございます。

全体としましては、③の収支実績でございまして、289万7,000円のマイナスとなっております。

(4)指定管理者が行った処分の件数についてですが、施設の使用許可を1,370件実施しております。内訳は、音楽スタジオの利用申請が全体の約9割を占めてございまして、その他は調理室、多目的室、工房、アリーナでございまして。

(5)の市への不服申立てでございまして、こちらについての実績はございません。

(6)の情報公開の状況につきましては、文書開示申出が1件ございました。事案の概要は、平成23年9月の指定管理者公募時の事業提案書類に関するものでございまして。

次に、3の「利用者ニーズ・満足度等の把握」でございまして。

(1)指定管理者が行ったアンケート調査の結果でございまして。

①のアンケート調査の実施内容につきましては、利用者に随時アンケートを実施しているほか、指定の開催イベントの際にも、アンケートを実施しております。

②のアンケート調査の結果につきましては、「満足している」「また来たい」といった概ね良好な評価をいただいておりますけれども、届いたお声の一部には、施設に対する利便性の向上や職員対応についての指摘もあったところでございまして、こういった点につきましては、改善を図ってまいります。

③のアンケートにより得られた主な意見・苦情とそれへの対応につきまして、幾つかご紹介させていただきます。

まず、一つに、「学習室の照明が人の動きに反応する設定になっていて、人の動きがないと暗くなる時間があるので、常に明るい設定に変えてほしい」といったご意見がございました。こちらに対しましては、常に明るい設定へ変更いたしました。また、「体育館の壁に野球のボールを打ちつけたりする」「利用者のマナーが悪い」といったご意見がございましたので、こちらは職員の巡回を強化し、ポスター掲示なども行いながら、注意喚起を行った

ところでございます。なお、このような対応につきましては、ロビーに設置したボードに書き出して、利用者に周知をしてございます。

(2) 市に寄せられた苦情や意見につきましては、実績がございませんでした。

次に、4の「指定管理者の自己評価」でございまして、4点でございます。

- ・来館者数は昨年度より減少したものの、過去2番目に多い12万9,850人という来館者数であり、子どもたちにとって、心地よい居場所として定着している
- ・学校や図書館など市内各地に出向き、出張講座を開催するなど、施設外の活動にも貢献した。
- ・外部講師を招いての職員研修や日常的な指導・育成などを行いながら、職員一人一人のスキルアップに努めた
- ・利用者の多い近隣の学校など、外部団体との情報交換や連携の体制を整えた。

という評価になっております。

次に、5の「市による評価」でございまして、こちらは、「S、A、B」という評価の中間の「A評価」としてしております。これは、指定管理業務については、適正に実施されており、一定の評価はできますが、計画と比較して飛び抜けた成果が上がっているとは言えないという評価でございまして、所見について、6点挙げさせていただきました。

1つ目に、アリーナで開催していた「グリーンミュージックフェスティバル」を25年度は屋外で開催することで、約1,000人の多くの観覧客がございました。運営に携わったことも運営委員、出演者が大きな達成感を得るとともに、市民への良い周知活動となったものでございます。

2つ目に、「チャイルドサポート事業」では、不登校が改善された事例や繰り返し相談に訪れる人がいるなど、相談員との信頼関係が構築されてきている。

3つ目に、今年の2月、2度の大きな積雪がございましたけれども、日ごろより、本市との連絡を密にして対応策を備えていたため、当日は混乱もなく、適切に対処ができた。

4つ目に、中高生と大学生ボランティアが年齢の垣根を越えて交流を深めることを目的とした交流カフェ「かふえきが一層」では、多くの子どもたちが好きなことに興味を持って、自由に交流している。

5つ目に、自主事業では内容を見直すなど、改善を試みた結果、参加者が増加し、申し込みが定員を大きく超えた講座も出てきている。その反面、定員に満たない講座もあるため、こちらは引き続き検討が求められる。

最後に、受託事業では、一部の講座でメール申し込みができるようにしたところ、申し込みが増加するなど、工夫が認められた。

以上が、市による評価でございます。

続きまして、履行状況の確認でございまして、評価の点数につきましては、1点が計画どおりの実績を上げていない、2点が計画どおりの実績を上げている、3点が計画を上回る項目でございまして、ここでは「昨年度から評価が改善した項目」、「3点とした項目」、そ

れと、「1点とした項目」について、ご説明をさせていただきます。

表の中ごろ、(2)「市民サービスの向上」の中で、「健全な遊びと居場所の提供のお話し会」でございます。こちらは、昨年度は2点と評価しておりましたが、25年度につきましては、毎月1回のところを月2回の開催、年間では24回実施いたしまして、参加人数は、計画の600人より448人多い、1,048人であったことから、3点と評価いたしました。

また、「自主活動の支援」の「子どもの自主活動の支援」につきましては、先ほどご説明しましたとおり、「グリーンミュージックフェスティバル」を屋外で開催することにより、約1,000人の観覧客が生まれて、昨年度の320人を大きく上回るなど、こちらも3点の評価といたしました。

また、「子どもの健全育成の啓発事業」の「子育てふれ愛フェスタ」につきましては、人気キャラクターを呼ぶなど、企画内容を見直し、過去最高の参加者数を記録したため、3点の評価としております。

次のページをご覧ください。(3)「施設の効用の発揮、施設管理能力」でございます。「利用促進の方策」の「施設ホームページの作成」につきましては、新たにSNSを利用して、リアルタイムに新しい情報を発信して、利用促進を図っていることから、3点と評価しております。

また、「自主事業の効果的な実施」の「親子のコミュニケーション・クッキング」及び「わくわく運動遊び」につきましては、昨年度は計画実施回数を実施できず、評価を1点といたしましたが、25年度は予定どおり実施できましたので、2点としております。同じく「キッズインミュージック」につきましては、親子で参加できるように内容を見直した結果、参加人数が376人と大幅に増加したため、3点と評価いたしました。

「職員の配置等」の「常勤職員の半数以上が「児童遊びを指導する者」となっているか」につきましては、こちらは職員12人全員が児童指導員または教員免許所有者となっておりますので、3点の評価としております。また、「開館中の常勤職員を各階に1人以上、それから事務室に2人以上の配置」につきましても、計画上の配置のほかに館内を巡視している職員を配置しておりますので、3点の評価としております。

そして、最後、一番下の欄でございますが、(4)「管理経費の縮減」ですが、「収入見積の妥当性」につきましては、参加費を徴収して実施する自主事業が計画どおりの参加者数を確保できず、収入減となったため、こちらは1点と評価しております。

したがって、合計で102点、平均点では2.1点のため、結果としてA評価といたしました。

以上が、本市による子ども交流館の25年度評価でございます。

なお、昨年度、指定管理に係る委託費が指定管理事業にだけ充当されていることがわかりにくいと、第三者にも把握しやすいよう経理を工夫できないか検討するようにとのご指摘をいただいたところでございます。これにつきましては、事業者側から、指定管理業務のみの財務諸表作成は困難であるとの回答をいただいておりますが、一般管理費につき

ましては指定管理料の10%以下であり妥当であると考えております。また、一般管理費以外の経費につきましても、領収書等を事務局で確認し、適正に管理されていること確認しております。

以上でございます。よろしくお願いたします。

○岩切会長 ありがとうございます。ただいま事務局から説明がございましたけれども、何かご質問等ございますか。

○鶴見委員 2点あります。まず、利用者人数でございますが、昨年度比97.7%で、達成率93.4%。予定より少なかったということになると思いますけれども、この原因はどのようなことにあるとお考えでしょうか。もう1点でございますが、評価を1としている自主事業の収入の件でございますが、この件につきましては、どのような改善策を講ずるおつもりであるのかという2点の質問について、お伺いします。

○植草こども企画課長 まず、自主事業の収入減についての改善策でございますが、魅力のある講座、教室等が開催できるよう、我々も指定管理者へ指導等を行いながら、集客力アップに向けた努力をしていかなければならないと考えております。

○事務局 利用者の減少につきましては、24年度が一番多い13万人。25年度は、それに次ぐ2番目ということで、大変多くの方に利用していただいております。24年度よりも若干減ってしまったことに関しましては、新たな利用者の獲得ができなかったことが原因と考えております。

○木頭委員 利用者が減ったというのは、少子高齢化で、対象となる児童が少なくなったということも、一つの原因だと思います。少子高齢化に対応するような対策を考えることも重要だと思います。

○岩切会長 ほかにご質問はございますか。

○中原委員 先ほど鶴見委員がご質問されました利用者数についてですが、事務局からの説明にありました、過去2番目の利用者数であったことはもちろん十分納得できます。ただ、数字だけを見るとやはり減っているという印象を受け、目標の立て方が正しかったのか、その辺が気になりました。

また、市の評価については、よくまとめられていると思いますが、市の評価の所見にあります、一部の講座でメールの申し込みをできるようにしたということですが、今の時代であれば、全ての講座でそのような方法での申し込みができればと考えます。

○岩切会長 財務状況についてはいかがでしょうか。

○木頭委員 財務状況は、アクティオ株式会社全体になりますが、資産合計が18億5千万円、負債合計が10億9千万円、純資産合計が7億6千万円。損益の状況は、売上額合計が66億7千万円、売上原価が57億円、当期純利益が1億3千万円ですから、財務のバランス性や収支状況について全く問題ありません。

○岩切会長 わかりました。ありがとうございます。ほかにご意見ございませんか。

○鶴見委員 先ほど述べましたように、利用者数が年々減っていくのでは困りますので、

最低でも現状を維持できるように、施策を講じてもらいたいと思います。

○岩切会長 いろいろご意見をいただきましたけれども、委員会の意見をまとめますと、共通して発言がございましたが、利用者数の減少は、決して好ましいことではなくて、過去2番目の実績という説明は伺いましたが、それにしても、かなり落ち込んでおります。この施設の性格上、やはり利用者あってのものでございますので、さまざまな対策を講じまして、利用者数の増加に向けて対応をしていただきたいと思います。

自主事業につきましては、幾つかプラス評価、昨年度よりも向上した事業を伺いました。確かにそういう事業もございますが、まだまだ改善の余地があるのではないかと思います。事務局からも、集客力のある、魅力ある事業をいかに提供するか、という説明もございましたので、このところは、頑張ってくださいと思います。

また、あわせて、自主事業の収入状況ですが、事業によってばらつきが大きいように思います。全体では計画額を上回ってはおりませんので、そのあたりを頑張ってくださいかなと思います。

それから、財務状況につきましては、企業としての問題はないということですが、どうしてもこの指定管理事業単体の収支がよく見えない。特に昨年度の委員会の中で、事務費や管理費の確認方法がないのかという質問に対して、事務局からは指定管理者と協議をしますというお答えでしたけれども、先ほどの説明を聞きますと、個別の対応は困難だというご回答でした。このあたりは、この事業についての収支をさらに見えるものに改善していただきたいと思いますので、ぜひ、今後とも、次年度に向けて、さらに努力していただければと思います。

○岩切会長 全体の評価としまして、事業自体、概ね順調に進んでおりますので、市の評価の「A」は、妥当な評価ということでよろしいでしょうか。

(各委員了承)

○岩切会長 それでは、ご意見がないようですので続けてまいりたいと思います。

議題2「千葉市子育て支援館の年度評価」につきまして、事務局よりご説明願います。

○松浦保育支援課長 保育支援課でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、指定管理者評価シートをご覧ください。

施設名は、「千葉市子育て支援館」。指定管理者は公益社団法人千葉市民間保育園協議会で、指定期間は平成24年4月1日から平成29年3月31日でございます。今回は2期目、2年目の評価となります。

2の「管理運営の実績」でございます。

(1) 主な実施事業といたしまして、子育て支援館の維持管理業務、地域子育て支援センター事業、ファミリーサポートセンター事業となっております。自主事業といたしま

しては、自主企画による独自イベント、講座、研修等となっております。

(2) 利用状況でございます。

①利用者数ですが、平成25年度は7万6,470人。平成24年度の8万3,364人と比べますと、91.7%、6,894人の大幅な減となっております。平成23年度も8万3,000人の利用者数でございましたので、25年度と24年度の前年度月別で比較いたしましたところ、7月から10月、夏の暑い間の4カ月間につきましては、24年度は合計3万3,573人、25年度は3万249人となっております。この4カ月間だけで、3,324人の減となっております。

また、2月、3月の2カ月間につきましては、24年度が1万3,519人、25年度が1万1,085人と、こちらも2カ月間で2,434人の減となっております。この6カ月間で、合わせまして5,758人と全体の減少数の約8割を占めておりました。この原因につきましては、25年度は大変記録的な猛暑と、2月、3月、特に週末にかけまして、降雪があったということで、天候の問題が影響しているのではないかと推測しております。

②の相談件数でございますが、25年度、2,376件で、24年度と比較しまして、66件の減となっております。

(3) 収支の状況でございます。

①収入実績の自主事業の部分をご覧ください。決算額11万6千円と、計画額より8千円ほど少なくなっております。こちらは自主事業として、28回の講座を予定しておりましたものが27回となりまして、参加者からの徴収が予定よりも少なくなったことが理由となっております。次に、その他の収入が計画額よりも上回った要因といたしましては、講演会の講師謝礼によるものが増えたことが要因でございます。

②の支出の実績でございます。計画費の欄をご覧くださいまして、対計画費の中で、一番大きく差が生じておりますのが、管理費の52.5%でございます。これは館内のおもちゃの破損による取りかえなどを想定しておりましたけれども、破損するおもちゃが少なく、新たに購入せずに済んだということが要因でございます。また、事業費でございますが、コピー機の使用に当たりまして、使用枚数を減らしたという自主努力により、計画額を下回ったものでございます。

③の収支実績につきましては、135万6千円の黒字となっておりますことから、おおむね適正に運営されているものと判断いたしております。

(4) 指定管理者の行った処分の件数でございますが、こちら266件で、多目的室の使用許可を行ったものでございます。

(5) 市への不服申立てでございますが、昨年に引き続き、ございませんでした。

(6) 情報公開の状況でございますが、こちらも同様でございます。

次に、3の「利用者ニーズ・満足度の把握」でございますけれども、こちらも昨年同様に、さまざまな方法により、アンケートを実施いたしております。1つ目が、初めて来館する方向けに配付する、2つ目が来館者に配付、3つ目がひろば・イベントに参加した方に配付、4つ目に館内に設置したポストに投函していただく、これら4つの方法により、

昨年度を135件上回ります2,296件のアンケートを回収しております。

②調査の結果でございますけれども、来館者につきましては、20代から30代の子育て中の女性がほとんどでございます。目的といたしましては、最も多いのが親子で遊ぶが61.9%、続きまして、友達をつくるための14.1%、情報を得るための7.9%などとなっております。次によく利用するコーナーは、プレイホールが73.9%、ままごとコーナーが50.2%、親子サロン27.2%、工作コーナー26.5%となっております。

アンケートの中で、大変よい、よいとされたものとして、スタッフの対応については、受付スタッフの対応は93.3%、ホール内のスタッフの対応は86.4%、スタッフに相談しやすい雰囲気かどうかにつきましては、76%の方からよいという評価をいただいております。

アンケートの全体を見ますと、子どもを遊ばせながら、お友達をつくったり、相談をしたりをする方が多く、情報を得るためにさまざまなイベントに参加しているという状況が見られました。

続いて、③アンケートにより得られた主な意見でございますけれども、ほかの保護者のマナーや態度が気になる。電子レンジを置いてほしい。おむつを捨てるごみ箱の設置を要望する声ですとか、あと、おもちゃの消毒についてなどの意見がございました。

続いて、(2)市に寄せられた意見でございますが、こちら1件ございました。こちらの内容は、利用者に入館カードを発行するため、受付で氏名・住所等を記載していただいておりますが、その個人情報の取り扱い方に不安があり、削除してほしいという要望でございましたので、その方の情報につきましては、速やかに削除いたしました。

次に、4の「指定管理者による自己評価」でございます。読み上げさせていただきます。

・管理運営及び維持管理業務の基準関係書類に基づき、管理基準を順守し、実施した。相談業務については、臨床発達心理士、認定心理士、看護師及び保育士、保育総合アドバイザーも相談に当たり、相談業務を適正に実施した。また、研修会、講座等に積極的に参加し、職員の質の向上に努めた。

・年4回実施している来館者アンケート、初めて来館する方向けの、はじめましてアンケート、ご意見ポスト、ひろば・イベント等の参加者アンケートにおいて、さまざまなご意見をいただいた。これら利用者の意見を吸い上げた結果、本年はイベントの回数を増やし、より一層利用しやすい施設になるよう改善した。

これらの点を総合的に見て、おおむね良好との自己評価とするとなっております。

次に、5の「市による評価」でございますが、「A」と評価いたしました。

所見でございます。市の所見欄を読み上げさせていただきます。

- ・指定管理者として、引き続き指定された第2期の2年目である。
- ・来館者数は目標数値を上回る7万6,470人であったが、前年度比91.7%、6,894人減少した。
- ・事業の広報・PR活動において、ホームページの更新や広報誌等の発行のほか、NHK千葉放送局のラジオ番組に出演し、子育て支援をテーマに1年間継続した取り組み

を行い、さらに市内の高校への特別授業「出産と子育て」、生涯大学での「子育て孫育て」講演会等の講師として、積極的に活動し、施設の認知度を高めることができた。

- ・地域子育て拠点施設の基幹施設として、他の拠点施設の統計を取りまとめ、翌月に実施する講座等の情報収集、ホームページでの情報提供を行ったほか、定期的な連絡会議等を開催し、他の拠点施設との連絡調整を円滑に行った。
- ・ファミリーサポートセンター事業についても、基礎研修会や広報活動を実施したほか、会員同士の交流等に積極的に取り組んだ結果、昨年度を上回る会員数4,911人と活動件数1万2,405件となった。

以上が市による評価でございます。

続きまして、履行状況の確認ですけれども、昨年度と比べまして、評価の変わったものだけをご紹介します。

まず、「受託事業の効率的な実施・創意工夫」の「あそびの講座の開催」でございます。こちらは、若干、開催回数が減ったことによりまして、評価を3点から2点にいたしました。

続いて「利用者への支援」の「子育てサークル・ボランティアの育成・支援」でございます。こちらは出張広場を年3回予定しておりましたが、相手方からのキャンセルがありまして、年1回だけの開催となってしまったことにより、評価を3点から2点にしたものでございます。

以上、38項目を合計いたしますと、合計90点、平均2.4となります。この90点の内訳は、38項目中、3点と評価したものが14項目、2点が24項目で、平均2.4となっております。

昨年度の委員会におきまして、委員の皆様方から実績からSの評価をしてもいいのではないかというご意見をいただき、平均2.4以上を3年継続されれば、S評価を検討するといったしておりました。今回、3年連続で2.4の評価となりましたことから、Sと評価したいところではございますが、年間来館者数が前年度比6,894人の減と、かなり大幅な減少になってしまったことから、総合評価は、SではなくAと評価したものでございます。

説明は以上でございます。

○岩切会長 ありがとうございます。ただいま事務局から説明がございましたけれども、何かご質問等ございますか。

○鶴見委員 やはり気になるのは利用者数ですが、まず、平成25年度の目標値が7万5,100人となっております。前年度は8万3,000人にもかかわらず、目標が8,000人減としていたのは、何か原因が見込まれるような事情が平成25年度当初からあったのかどうか。また、大幅な減、1割ぐらいの減でございますが、先ほど暑さ、寒さが原因であろうという話がありましたが、ほかには理由は考えられないのか。以上2点、お願いいたします。

○事務局 目標値につきましては、指定管理者が2期目の提案をさせていただいたときに、5年間の目標値を設定しており、その数字となっております。これは事前に、25年度、減少が見込まれるという想定しておりません。

天候以外の理由につきましては、指定管理者から聞き取りをしたところ、日頃、利用者からご相談をお受けしている中で、小さいお子さんを抱えている女性から職場復帰へ向けて、保育所や幼稚園の情報を求める声が多くあるということでしたので、女性の社会復帰が少し早まってきたのではないかと推測される、そのようなことも1つの要因だと考えております。

○木頭委員 未就学児自体も減ってきている、それも一つの大きな原因だと思います。また、現在、私立小学校に入学するための進学競争が強まっておりますので、受験勉強のため、このような施設を利用する方が少なくなる、そういうところも1つの原因ではないかと思っております。

○中原委員 利用者数の減少は、特に注目されると思っておりますが、新規の利用者の有無はおわかりになりますか。

○事務局 はい。資料3-4、事業報告書をご覧ください。こちらに利用状況の記載がございます。新しくご来館された方の人数としましては、25年度の利用者数7万6,470人、利用組数3万1,510組のうち、新規組数は5,520組でございます。利用件数で比較した場合、新規利用が全体の約17.5%を占めております。

○岩切会長 利用者数の減少については、判断が難しいところですね。いろいろな要素があると思っております。

○鶴見委員 このまま行きますと、毎年毎年、1割減ってしまいますから、その辺、何とか食いとめる対策が必要なのでないかなと思っております。

○岩切会長 そうですね。利用者数以外のご意見は何かございますか。

財務状況についてはいかがでしょうか。

○木頭委員 財務状況ですが、指定管理者は、公益社団法人千葉市民間保育園協議会。公益社団法人として、財務のバランス性や収支状況について全く問題ありません。撤退とか倒産の危険はないと判断します。

○岩切会長 わかりました。ありがとうございました。ほかにご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○岩切会長 それでは、ご意見も出たようでございますので、委員会としての意見をまとめますと、この子育て支援館の運営につきましては、非常に良好な運営が継続されていると思っております。おおむね良好な管理運営が行われているという点では、よろしいでしょうか。

(各委員了承)

○岩切会長 それから、財務状況も問題はないでしょうか。

○木頭委員 問題ないです。

○岩切会長 ファミリーサポートセンター事業については、会員数・活動件数ともに非常に順調に推移していると思っております。ファミリーサポートセンター事業の充実は、大変良い実績を上げておられるということで、この点は評価できるのではないかと思います。よろしいですか。

(各委員了承)

○岩切会長 それから、利用者数の件ですね。減少の要因については、事務局から天候の問題、あるいは女性の社会復帰が早まっているのではないかと、また木頭委員からは進学状況等の変化もあるのではないかと、いろいろな意見が出ました。これについては、鶴見委員からもございましたように、このまま利用者数が減少していくということは、好ましいことではないと思います。この施設の容量の問題もありますので、どこまでも増えればいいというのは、逆に問題も出てくる部分もありますから、ここは数だけの問題ではなく、利用者数の減少の原因をよく把握されて、検討していただいて、適切な利用者数の増加に向けて努めてもらいたい。そのような意見でよろしいでしょうか。

(各委員了承)

○岩切会長 特に大きな問題等はありませんが、評価の問題で、本年度までA評価で、好調な状態が続いた場合には、S評価もというようなことが昨年度、話し合われました。この点、本年度の実施内容からすると、S評価にしてもよい感じではありますが、今回、利用者数が大きく減少しておりますので、迷うところではありますが、事務局のA評価は妥当な評価と思いますが、いかがですか。

(各委員了承)

○岩切会長 それでは、2施設の年度評価について審議をしてきましたけれども、委員の皆様方、何かご意見ございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○岩切会長 それでは、私から1つ。毎年、お話しするようにしていますが、この2施設とも、子どもを対象とした施設でございますので、事故や不審者への対応、地震等への安全面の対応などこれについては、かなり努力されていることが報告書から読み取れますが、ぜひ、そこは気を抜くことなく、ご留意いただきたいということを、事業者へお伝えいただきますようお願いいたします。

それでは、評価シートへの最終的な意見の反映方法等につきまして、事務局からご説明願います。

○事務局 本日、皆様からいただきましたご意見を事務局が集約しまして、意見の案を作成いたします。その後に会長に意見の案をご確認いただきました上で、委員の皆様にお諮りしまして、委員意見の内容を確定したいと考えております。よろしくようお願いいたします。

○岩切会長 それでよろしいでしょうか。

(各委員了承)

○岩切会長 本日の指定管理者の評価の審議は以上となりますけれども、その他、何かございますか。よろしいですか。

それでは、最後に、議題の3「その他」について、事務局よりご説明願います。

○事務局 3「その他」でございますが、今回のこの会議の議事録と評価シートにつきましては、千葉市役所のホームページで公開となりますので、ご承知おきくださいますよう、

お願い申し上げます。

議事録につきましては、議事録案を後日郵送いたしますので、内容のご確認をよろしく
お願いいたします。

以上でございます。

○岩切会長 ありがとうございます。

それでは、皆様方から特に意見はないようですので、本日の委員会を終了とさせていただきます。どうもご協力ありがとうございました。